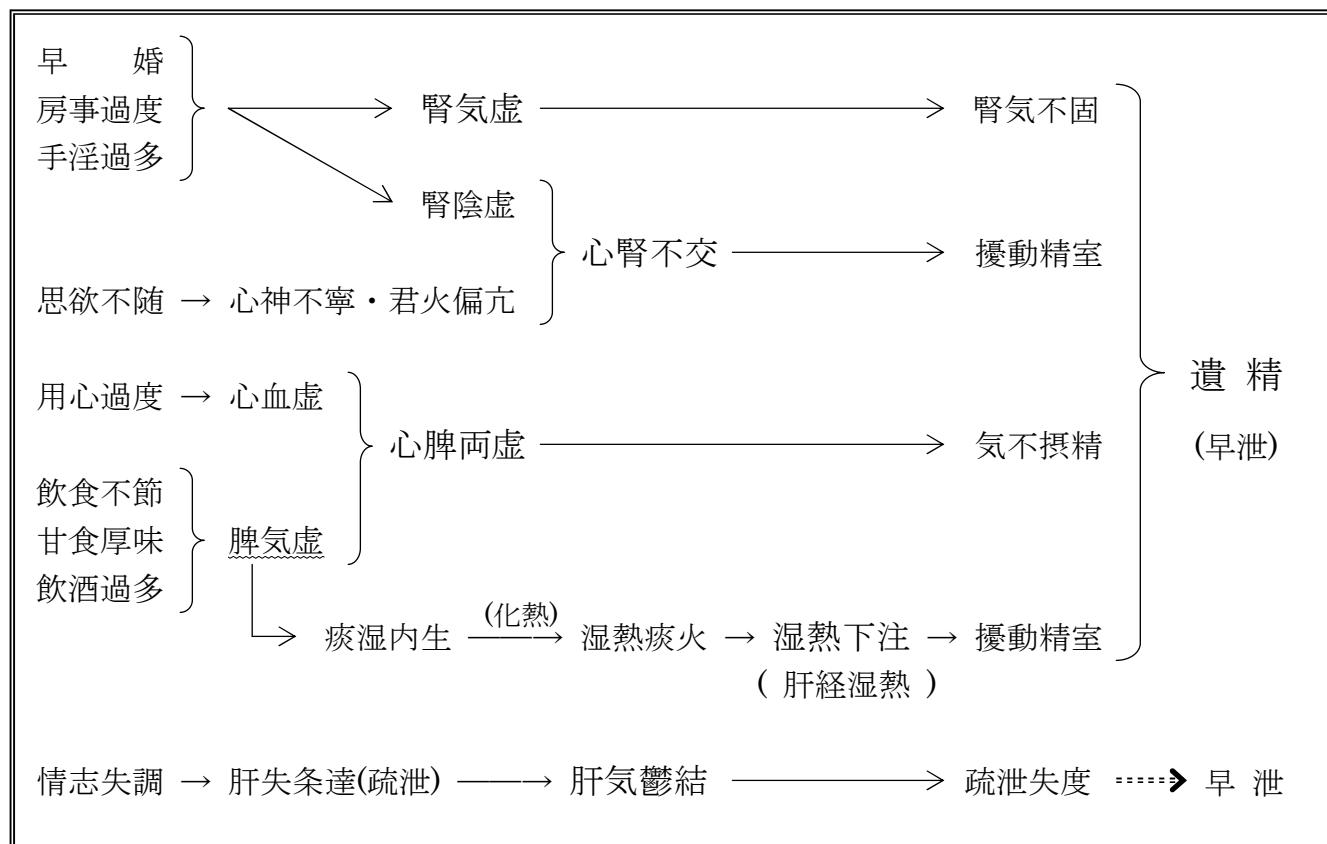


第32講 『遺精』

：遺精とは性交渉によってではなく頻繁に精液を漏泄する病証で、睡眠時に起こる不随意の射精[夢遺(夢精)]と、覚醒時における不随意の射精[滑精]を含む。

【分類】 腎虚不固；心脾両虛；心腎不交；湿熱下注

【病因病機】



* 「早泄」の病因病機は「遺精」の病機とほぼ同じで鍼灸による治療も同じである（異病同治）。「早泄」とは陰茎が陰道に挿入されて1分未満、甚だしいものでは陰道口に接触しただけで射精に至るもので、正常な性交が行えないものを指す。

【鑑別】

1. 夢遺と滑精：定義で紹介済み。
2. 遺精と早泄：早泄は性交の時間が短すぎるものをいう。陰道に挿入してすぐに、或いは陰道口に触れただけで精液の排出がおこり、それに伴って陰茎が痠軟になり正常な性交が行えないものである。性交に起因するわけではなく精液の排出の起こる遺精・滑精とは異なる。

【 症状と処方例 】

※ 基本穴

[処方例]

	経絡	意 義	取穴部位
関元	任脈	補腎固精	前正中線上で臍下3寸
腎俞	膀胱經		第2・3腰椎棘突起間、外1寸5分
次髎	膀胱經		第2後仙骨孔部
三陰交	脾經		内果の上3寸、脛骨内側縁骨際

1. 腎虚不固

[症 状] 頻繁に遺精が起こる、滑精が見られることがある。射精後は疲労倦怠感、腰膝酸軟等の症状を伴う。性欲減退、小便頻数、顔色に精彩がない、眩暈、耳鳴り、舌淡、脈弱。

[処方例]

	経絡	意 義	取穴部位
基本穴	***	補腎固精	* * * * * *
志室	膀胱經		第2・3腰椎棘突起間、外3寸
太谿	腎經		内果とアキレス腱の間陷凹部

※ 湯液：六味地黄丸、左帰丸、右帰丸

2. 心脾両虛

[症 状] 思慮の過度或いは労倦によって遺精が起こる。心悸怔忡、失眠健忘、顔色は萎黃、四肢倦怠、食欲不振、軟便、舌淡、脈細弱。

[処方例]

	経絡	意 義	取穴部位
基本穴	***	補腎固精 養心健脾	* * * * * *
心俞	膀胱經		第5・6胸椎棘突起間の外1寸5分
脾俞	膀胱經		第11・12胸椎棘突起間、外1寸5分

※ 湯液：補中益氣湯 或いは 妙香散

3. 陰虚火旺（心腎不交）

[症 状] 夢中遺精、夜寐不寧、眩暈、耳鳴、心悸易驚、精神疲労、無力感、腰膝酸軟、五心煩熱、潮熱盜汗、口唇の乾燥、舌紅少苔或いは無苔、脈細数。

[処方例]

	経 緯	意 義	取 穴 部 位
基本穴	＊＊＊	補腎固精	＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊
太 霽	腎 経	滋陰降火	内果とアキレス腱の間陷凹部
神 門	心 経		手関節前面横紋の尺側、豆状骨の上際で尺側手根屈筋腱の橈側

※ 湯 液 : 黃連清心飲

4. 湿熱下注

[症 状] 夢中遺精を頻発する。排尿後精液の外流が見られる、小便短黃・混濁しており渋って出づらくしみる感じがしてすっきりしない。口苦、煩渴、舌紅、苔黃膩、脈滑数。

[処方例]

	経 緯	意 義	取 穴 部 位
基本穴	＊＊＊	補腎固精	＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊
中 極	任 脈	清利湿熱	前正中線上で臍下 4 寸
陰陵泉	脾 経		脛骨内側顆の下、脛骨内側の骨際、陷凹部

※ 湯 液 : 草薢分清飲

《早泄》

1. 肝氣鬱結

[症 状] 精神抑鬱、焦燥不安、少腹不舒、睾丸が突っ張る、胸悶太息、舌辺紅、脈弦。

[処方例]

	経 緯	意 義	取 穴 部 位
基本穴	＊＊＊	補腎固精	＊＊＊＊＊＊＊
太 衝	肝 経	理氣解鬱	足背にあり、第1・2中足骨底間の前、陥凹部
行 間	肝 経		第1中足指節関節の前、外側陥凹部

※ 湯 液 : 逍遙散